



HandaCity

表紙写真：3月定例会の様子

NO.226



はんだ市議会 だより

2023年5月1日発行

HEADLINE

- 新年度予算案の審査
- 市長施政方針に対する代表質問
- 一般質問、4人が市政を問う!



半田市議会広報へ

市政を問う

代表質問



3月定例会における「市長施政方針」に対し、3月1日に5会派が代表質問を行いました。
各派代表議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。

(質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です)

※質問、答弁の詳細は6月1日頃から半田図書館・亀崎図書館等に設置された会議録でご覧いただけます。また、市議会ホームページにも掲載します。

※その他、議員ごとにYouTubeへ直接アクセスできるQRコードを掲載しています。



市長施政方針演説
(YouTube)

市政を問う

代表質問 (質問議員が執筆しています)

これまで検討した上で、実施しない選択をし

問 子育て支援に関して、子ども医療費の完全無料化や第2子以降の保育料、中学校給食費などの無償化など先進事例を参考に導入を検討してはどうかですか。



問 スタートアップ企業を持つ先端技術を活用することで、地域課題解決につながる可能性には期待をしています。大学との連携も視野に入れ、愛知県のステーションA事業の情報も収集しながら、地域課題の解決とスタートアップ企業の育成にチャレンジしていきます。

問 「スタートアップ」について、半田市としてどう取組んでいきますか。また、日本福祉大学と連携してはどうかですか。

創造みらい半田 芳金秀展




問 産業振興会議で検討されてきた事業の方向性と中長期での成果のイメージを教えてください。

短期的な取組みとしては人材獲得のための分科会を立ち上げ、質の高い働く環境を目指すための施策に取組んでいきます。また、若手事業者の可能性を高め、新分野でのビジネスを創造するために未来志向の勉強会を立ち上げます。成果は概ね5年から10年にかけて、目標である「事業者を元気にする」に近づきたいと考えています。

問 行政が取組む事業についてのコスト認識を伺います。

志民ネット 小栗佳仁




問 小中学生のタブレット導入により危惧される問題と幸せになるための教育についての見解を伺います。

物価高騰が続く中、市民の皆様から大切なお金をお預かりしている事を肝に銘じ、今まで以上にコストを意識し、事業の取捨選択も視野に入れる必要があると認識しています。職員一人ひとりがコスト意識を持って事業に取組むことを改めて徹底していきます。

問 2030年までに電動車を50%以上にする目標については、EVに特化したものではなく、ハイブリッド、燃料電池など自動車の特性を踏まえて導入していくものです。今後とも社会情勢や開発状況等を見極めながら、災害時の活用なども総合的に判断し、カーボンニュートラルに向けた公用車の導入を推進してまいります。

いながら、正しく安全に利用するために、デジタルシティズンシップ教育を進めていきます。この教育では、インターネットやデジタル技術を使用する上でのマナーや倫理観、プライバシーやセキュリティについての意識を高め、相手に対する尊重や配慮を持ち、コミュニケーション能力の向上も図ります。同時に幸せになるための教育を進めていきます。





山田清一
公明党



問 どのような将来展望をもって、令和5年度予算編成をしますか。

市民・事業者・有識者の声を聴き、各種会議体を立ち上げ、得られた提言・提案は、「市民自らが行動しお互い支えあうことができるまちづくりや市民の満足度向上につながるもの」との将来展望をもって、予算編成をしました。

問 学校施設等の公共施設を利用したゼロカーボンシティへの取り組みについて伺います。

省エネ設備の設置はもちろんのこと、徹底した省エネを推進することとし、令和5年度に実施設計を予定している亀崎小学校については、従来の建物に必要なエネルギー

の50%を削減する「ZEB Ready」を目指していきます。

問 民間事業者等からの提案により課題解決につながる「民間提案制度」の創設について見解を伺います。

民間事業者のアイデア、技術を活かして解決する仕組みづくりについて、他自治体の実績などを踏まえ、調査研究します。

問 「半田市公共交通バス」および「おでかけタクシー」の今後の展望について伺います。

現在の公共交通ネットワークを維持しながら、公共交通空白地域の解消を「路線バス」や「おでかけタクシー」のほか、新たな公共交通の仕組みの導入も視野に入れて進めます。



南吉バス(半田中央線)



嶋崎昌弘
自民クラブ



問 イの一番に成し遂げたい施策は何ですか。

教育・子育て、地域経済、DXの分野であり、施策の具体化に向けて最優先で取り組んでいきます。

問 幸せになるための教育会議での結果、教育の現場で、どのような成果がありましたか。

これまでの教育と目指すものは同じであると整理ができ、小学校における専科教員や、学校地域協働支援員の配置を進めていきます。

問 新病院建設事業で、北部からのアクセス道路は、令和5年度にどれだけ進捗しますか。

道路工事に着手し、既設水路の暗渠化や島田橋の耐震化を行い40%程度

進捗する計画です。

問 子育て・教育支援で、伴走型相談支援とは、半田市バージョンの、ネウボラ方式と考えてよいですか。

地区担当の保健師等が、全ての妊産婦に面談、産後2週間に助産婦が電話で相談に応じる「すこやかベビー応援コール」を実施し、半田市版ネウボラ事業として推進していきます。

問 コロナ禍、ウクライナ情勢等による物価高騰で、市民生活に影響を及ぼしている中、水道基本料金の減免を半年間に延ばしたらと考えますがいかがですか。

市民生活を考えることは大切です。社会情勢がいま以上に悪化した時には、補正予算を組んでも行います。



伊藤正興
チャレンジはんだ



問 幸せになるための教育について、各学校や教員が主体的に考え自由に進めていくことですが指導要領等は作成しますか。

幸せになるための教育を実現する会議からの提言を受け、各学校、各教員が主体的に自由に考え進めていきます。そのため、新たに指導要領等は作成しません。

今後、小中学校では各校の教育目標を見直し、目指す子ども像へ迫る教育活動が実施されます。

問 中心市街地の活性化が市全体の活気につながるのとことですが、中心市街地から離れた地域にどのように広がっていくと考えていますか。

中心市街地に求心力が高まり関係人口が増加することで、市内の観光や文化資源、魅力ある店舗にも目が向けられ、中心市街地以外にも訪れる人が増えるなどの相乗効果が期待できます。

問 新病院へのアクセス道路周辺には都市計画道路環状線の計画がありますが整備についてはどのように考えていますか。

新病院へのアクセス機能と共に市内の交通を円滑にする機能をもつ重要な幹線道路であり、本年2月には阿久比町長との会談により、できる限り早く環状線の整備が実現できるよう協力していくことを確認しました。



市政を問う

一般質問?



3月定例会における市政に関する一般質問は、3月2日に行われ、4人の議員が質問に立ちました。各議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。(質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です)

※質問、答弁の詳細は6月1日頃から半田図書館・亀崎図書館等に設置された会議録でご覧いただけます。また、市議会ホームページにも掲載します。
※その他、議員ごとにYouTubeへ直接アクセスできるQRコードを掲載しています。

問
多くの健康で元気な高齢者が自宅で過ごし、介護予防をしていない現状があります。65歳以上の元気な高齢者が、介護施設や在宅等において、要介護者に対する支援ボランティア活動

地域のお助け隊やボランティアの方が要支援者のご自宅を訪問し、傾聴やゴミ出し、草刈り等を行う訪問型の事業と公民館等の通いの場で、体操等を行う通所型の事業があります。

問
住民が主体の地域づくりとなる「介護予防・日常生活支援総合事業」が始まっていますが、地域住民が担う事業について伺います。

介護ボランティアポイント制度の導入

坂井美穂
(公明党)





出展：稲城市

介護ボランティアポイント制度については選択肢の一つとして、先進自治体の事例を調査していきます。

問
介護予防サービスを担う有償ボランティアは数人と非常に少ないです。ボランティアポイント制度の導入が有償ボランティアの担い手の裾野を広げる可能性があると考えますが、見解を伺います。

これまで通り、有償ボランティアを増やす取組みを行っていきます。

問
を行った場合にポイントを付与する、介護ボランティアポイント制度を導入すべきと考えますが、見解を伺います。

回覧板や掲示板、災害時の安否確認、役員などの会議や打ち合わせのオンライン開催など、情報共有の効率化や負担軽減、住民の安全性向上に

問
近年、多くの区、町内会が、運営負担の増大、担い手不足、活動者の減少等の課題を抱えています。町内会活動の課題を解決し、活性化を図るには、運営負担の軽減や、若い現役世代に活躍してもらうなどの新たな工夫が必要で、これらの課題解決の一環として、地域活動のデジタル化(電子町内会や、デジタル回覧板等)が有効であると考えますが見解を伺います。

地域活動におけるDX推進を問う

岩田玲子
(創造みらい半田)





コミュニティ環境整備補助金制度等を活用したデジタル機器の購入や自治区向けソフトの導入支援など、自治区が具体的に検討できるように市民協働課とデジタル課が連携して取組みます。半田市区長連絡協議会で、情報交換の場を設け、実践に繋げていくよう働きかけていきます。また、デジタル化の相談に対応できるように取組んでいきます。

問
自治区のデジタル化を進めるため、機器や、自治区向け専用アプリなど、環境整備に対して支援や補助を行う考えはありますか。

有効で、持続可能な地域づくりにおいて、意義のあるものと認識しています。

市政を問う 一般質問 (質問議員が執筆しています)



水野尚美
チャレンジはんだ



多様な性の理解促進と支援

問 研修を受けた職員
の理解は深まっていますか。

「行政職員として性の多様性について学ぶ」をテーマに、職員研修を実施しており、アンケート結果から、職員の理解は深まっていると判断しています。

問 全庁的に同様な対応
をするために、職員
向けガイドラインが
必要ですが、いつま
でに作成しますか。

各課の業務を網羅した「職員向けガイドライン」を令和5年度上半期に作成します。

問 保育園、幼稚園、小
学校、中学校におけ
る職員研修はどのよ
うにしますか。

保育園、幼稚園では、合同園長会議で研修と意見交換を実施し、管理職の理解を図ります。小中学校では、教職員や保護者を対象とし、性的少数者である当事者と当事者の保護者を講師に、「子どもたちが自分らしく生きるために身近な大人ができること」をテーマにした研修を実施します。

問 令和5年4月1日か
ら運用開始するパ
ートナシップ・ファ
ミリーシップ宣誓制
度の広報や啓発はど
うにしますか。

市報や市ホームページ、SNSなどを活用すると共に制度内容と多様な性に関する啓発リーフレットを作成して周知を図ります。さらに、多様な性に焦点をあてた講演会とパネルディスカッションを予定しており、本制度と併せた啓発を展開します。



加藤美幸
（自民クラブ）



地域商業のにぎわい創出

問 コロナ禍や高齢化に
伴う廃業など、商業
の低迷化への具体策
を伺います。

事業継承や債務問題などの個別相談会を開催しています。半田商工会議所との連携を継続的に進め、農業・工業・教育・福祉など多様な分野への連携も考えていきます。

問 人が集まる魅力ある
中心市街地への考え
方を伺います。

JR半田駅周辺および、名鉄知多半田駅周辺の活性化を進めるために、市長特任顧問は、地域の主体性が大切と考えています。気軽に相談でき、集まる場づくり、取りまとめる組織や会議立ち上げを行います。

観光による地域活性化と、まちへの愛着と誇りの醸成

問 観光資源の磨き上げ、
発掘とブランド形成
の具体策を伺います。

イベントを通じ歴史や文化に直接触れ、深く学べる情報発信を行います。赤レンガ建物の公式図録作成へ調査研究を進めます。運河や赤レンガなど、他市町や団体との連携を図ります。

問 観光客の受け入れ環
境の整備と充実への
見解を伺います。

観光ボランティアガイドの育成や活動の活性化を支援します。観光施設に市民が花を植えていただくことをサポートします。レンタサイクルの利便性を調査研究し、ヘルメット着用など安全性にも配慮します。



（赤レンガ建物）新美昇絵

議会用語解説



市議会
用語解説へ

本会議

議案などを審議し、議会の最終的な意思決定を行う会議。定例会と臨時会があります。

定例会

定期的に開かれる本会議のことです。半田市では年4回（3月、6月、9月、12月）行われています。

臨時会

定例会とは別に、必要に応じて臨時で開かれる本会議のことです。特定の案件を審議するために開かれます。

代表質問

「市長施政方針」に対して会派を代表して行う質問です。3月定例会で行います。

一般質問

議員が市政全般にわたり、事務の執行状況や市政の方針などについて問い、報告や説明を求めることです。定例会ごとに行うことができます。

審 議 結 果 令和5年第1回定例会(2月20日～3月27日)

■全会一致の案件

議案 番号等	議案名 ()内は議案の補足説明です。
1	令和4年度半田市一般会計補正予算第9号 総務 ：基金積立金として、寄附者の意向に沿い各基金へ積み立てを行い、財政調整基金積立金は、今後の歳入不足、災害時の支出に備え積み立てるものなど 文教 ：国が実施する、妊娠届出時に5万円・出生届出後に5万円の支給事業に伴い、現金給付を行うための経費など 建設 ：中心市街地活性化事業を進めるにあたり令和4年の月毎の通行量、人の流れを年代、性別、交通手段別などで調査委託を行う事業や、国の補助金を活用し亀崎地区の無電柱化等整備事業の令和5年度分を前倒して行うもの
2	令和4年度半田市乙川中部土地区画整理事業特別会計補正予算第2号 (移転補償契約済み対象者の移転計画に遅れが生じ宅地造成工事の年度内の完了が見込めなくなり次年度へ繰り越すものなど)
3	令和4年度半田市JR半田駅前土地区画整理事業特別会計補正予算第2号 (設計業務委託において、年度内の完了が見込めなくなり、次年度へ繰り越すもの)
4	令和4年度半田市駐車場事業特別会計補正予算第1号 (雁宿駐車場使用料について、コロナ禍からの回復を見込んでいたが、見込み誤りにより減額するものなど)
5	令和4年度半田市国民健康保険事業特別会計補正予算第4号 (低所得世帯が増加したことによる保険税軽減分と保険者支援分の繰入を増額するもの)
6	令和4年度半田市介護保険事業特別会計補正予算第3号 (前年度の繰越金の確定により、介護給付費準備基金繰入金を減額するもの)
7	令和4年度半田市立半田病院事業会計補正予算第4号 (半田病院整備のための寄附を基金に積み立てるもの)
8	令和5年度半田市一般会計予算 総務 ：ふるさと納税により市と地場産品のPRなど 文教 ：令和5年度から本格的に進む重層的支援体制整備事業や、放課後児童健全育成事業の新たな取組みとして、学校の長期休業中に限定した預かり事業を各中学校区で1カ所ずつ実施する。また、これまで学校が行う学校給食費等を徴収する事務を行政が一括して行うためシステムを新たに構築するものなど 建設 ：第九回はんだ山車まつり開催事業の開催費補助金として、開催費用の一部を実施主体である実行委員会へ補助するものなど
9	令和5年度半田市乙川中部土地区画整理事業特別会計予算 (土地利用の効率化を図るものなど)
10	令和5年度半田市JR半田駅前土地区画整理事業特別会計予算 (鉄道高架と幹線道路の整備、土地区画整理事業を一体的に行い、東西交通の円滑化、駅前広場の整備、都市基盤の整備により、生活の利便性を向上させ、にぎわいと魅力ある中心市街地の再生を図るもの)
11	令和5年度半田市駐車場事業特別会計予算 (雁宿駐車場及び知多半田駅前再開発ビル駐車場を管理するもの)
12	令和5年度半田市モーターボート競走事業特別会計予算 (ボートレース常滑におけるモーターボート競走の開催によるもの)
13	令和5年度半田市国民健康保険事業特別会計予算 (被保険者に対し、疾病・負傷・出産または死亡に関して必要な給付を行い社会保障及び健康の保持増進を図るもの)
14	令和5年度半田市介護保険事業特別会計予算 (介護が必要になっても住み慣れた地域での生活が安心して続けられるよう介護保険サービスを運営するもの)

15	令和5年度半田市後期高齢者医療事業特別会計予算 (現役世代と高齢者世代の負担を明確化し、75歳以上の方々に生活を支える医療を提供するとともに、社会に貢献してこられた方々の医療費を国民全体で支えるもの)
16	令和5年度半田市立半田病院事業会計予算 (高度医療機器の整備や必要な人材の確保、新病院開院準備などにより、適切な医療を提供するもの)
17	令和5年度半田市水道事業会計予算 (水道施設の耐震補強、安心安全な水道水の供給など)
18	令和5年度半田市下水道事業会計予算 (浸水被害軽減のための雨水管整備、排水ポンプ場の改築・更新等の実施など)
19	半田市手数料条例の一部改正について (「脱炭素社会の実現に資するための建築物のエネルギー消費性能向上に関する法律等の一部を改正する法律」による「建築基準法」の改正により、既存の団地の認定が新設されることに伴い、条例の一部を改正するもの)
20	半田市立博物館条例の一部改正について (博物館法の一部改正に伴い、条例の一部を改正するもの)
21	半田市墓地条例の一部改正について (令和6年度から持続的な墓地経営や受益者負担の観点から、市営墓地管理料を徴収することに伴い条例の一部を改正するもの)
22	半田市国民健康保険条例の一部改正について (「健康保険法施行令等の一部改正する法令」の施行に伴い、「半田市国民健康保険条例」を一部改正するもので、国民健康保険に加入している方が出産されたときに支給する出産育児一時金を40万8千円から、48万8千円に改めるもの)
23	半田市国民健康保険税条例の一部改正について (国民健康保険の安定した財政基盤とするために、保険税率を引き上げることに伴い条例の一部を改正するもの)
24	半田市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律第九条第一項の規定に基づく準則を定める条例の制定について (工場立地法により定められた緑地面積率等を緩和することで、立地企業の敷地有効利用を図るため条例を定めるもの)
25	半田市都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例の制定について (市街化調整区域における開発行為及び建築等の許可の基準に関し必要な事項を条例で定めるもの)
26	市道路線の廃止について (源内林4号線、板山20号線の2路線を廃止するもの)
27	市道路線の認定について (阿原6号線はじめ13路線を認定するもの)

■その他の案件

議案番号等	議案名 ()内は議案の補足説明です。
報告1	専決処分の報告について(公用車両が関係する事故の和解及び損害賠償の額の決定)
報告2	専決処分の報告について(道路管理に起因する事故の和解及び損害賠償の額の決定)
報告3	専決処分の報告について(工事請負契約の変更)
	特別委員会の報告について(新エネルギー活用調査特別委員会の活動報告※内容は10ページに掲載)

新年度予算案の審査から

3月定例会では新年度の予算について厳正に審査を行いました。
委員会でどのような質疑が交わされているのか、その一部をお知らせします。

総務委員会

問 今回の予算は、「変革を加速する予算」と位置づけ、過去最大規模とのことですが、変革にチャレンジしていくためには、一方で経費を削減するなどコスト意識が求められると思いますが、市長としてどのように考えていますか。

答 物価高騰により各経費も上がり、事業費の見直し、効率化を中心に取組んできましたが、今後はスクラップ・アンド・ビルドの考え方により、事業をやめることができるかどうか見極め、取捨選択を進めていく必要があると考えています。

DX推進事業

問 書かない窓口を実施することのことで、人件費の削減に繋がりますか。

答 書かない窓口は、申請する際の手書きの負担が減ること、市民サービスは向上しますが、窓口の人員を減らせることには繋がらないと考えています。今後、オンライン申請の浸透により、徐々

に来庁者の減少が見込まれるため、来庁される方に対する、より丁寧な対応に努めます。

広聴事業

問 新たに導入するeモニター制度は、どのようなものですか。

答 インターネットを活用したアンケート調査で、市報、ホームページ、SNS等を通じモニターとして市民200名を公募し、年間10回程度実施するアンケート調査に協力いただくものです。

市民協議会運営事業

問 市民協議会とは、どのような市民が参加し、実施していきますか。

答 市政に参画されたことがない市民からの意見も取り入れることができるよう、無作為に選ばれた市民が討議する課題について自身の意見を持つて参加いただき、市政に対する議論を重ね、出された意見を集約して提言にまとめる会議として実施します。

防災カメラ整備事業

問 防災カメラをどのように整備し、運用することを考えていますか。

答 神戸川、稗田川の、水位計が見える橋付近の電柱に設置を予定しています。職員や住民が、河川に近づかずとも、水位等の河川の状況が確認できるよう、YouTube等を活用して、ライブ映像をホームページに添付掲載していく予定です。



総務委員会の様子

文教厚生委員会

重層的支援体制整備事業

問 アウトリーチ継続的支援事業について、コミュニケーションソーシャルワーカーの増員に伴い、配置や相談を受ける体制に変更はありますか。また、このことを市民に改めて周知する考えはありますか。

答 コミュニティソーシャルワーカーは、3名から5名に増員します。各中学校区に1名配置し、既存の相談窓口で受け、相談内容によっては、必要に応じてコミュニティソーシャルワーカーにつなぎます。人員増加は、市民からの相談体制には変更がないため、改めて市民への周知を図る考えはありません。

市立花園保育園民営化事業

問 花園保育園西側からのアクセスの確保に向けた地権者との交渉が難航していると聞いていますが、令和5年10月の開園までに間に合いますか。

答 当初から予定していたとおり、保育園西側からのアクセスが確保できるよう、

10月の開園に向け、引き続き粘り強く交渉を行っていきま

不妊治療費助成事業

問 特定不妊治療を受けた場合、保険適用後の額からさらに3分の2の補助が受けられることは大変手厚い補助であると思います。もっと市外の方にもPRすべきと思いますが、どのように考えていますか。

答 効果的に治療を受けていただくことにも配慮した、他市町と比べて手厚い、本市独自の助成内容であるため、市外の方を含め積極的にPRを行います。

大学地域連携スポーツ推進事業

問 休日部活動の地域移行に向け、本事業はどのよう

答 本事業は、総合型地域スポーツクラブの運営サポートについての研究と指導者の派遣等を委託するもので

す。本事業により、市内5つの総合型地域スポーツクラブが、休日部活動の地域移行の際には受け皿のひとつとなるよう、地域スポーツクラブの基盤強化のために実施するものです。



文教厚生委員会の様子

建設産業委員会

民間人材活用事業 (6次産業化)

問 6次産業化プロジェクトリーダーを雇用することによって、市が目指す6次産業化の最終の姿はどのようですか。また、令和5年度はどのような取組みを行いますか。

答 それぞれの農家が、目指す農作物の売り方を、商業者にアピールすることにより、商業者と連携していくことが最終的に目指す姿の1つです。令和5年度は新たな直売所のような販路の開拓を行っていきたいと考えています。

公共交通対策事業、バスロケーションシステム運用業務委託料

問 バスロケーションシステムは、ウェブサイトを使うシステムであるため、バスを主に使われる高齢者にとっては、利用のハードルが高いと感じますが、システムの有効性をどのように考えていますか。また、システムの存在は、市民に十分に周知されて

いますか。

答 当該システムは、スマートフォンを利用する世代や、観光客の方にもバスを利用してもらうために有効な手段であると考えています。また、認知度は、各地区のバス会が地域で、チラシを配布するなどにより、徐々に向上しています。

観光情報拡散促進業務委託

問 インフルエンサー2名にPR依頼を行うとのことですが、どのような方に依頼をする予定ですか。

答 1名は県内の観光を中心に発信している6万8千人のフォロワーがいる方で、もう1名は、全国的に旅行をする中で撮った写真を投稿する19万1千人のフォロワーがいる方です。

知多南部広域環境組合負担金

問 令和5年度の予算は令和4年度と比較し、約3億8千6百万円の増額となっておりますが、市全体として、ごみ量が抑えられているにもかかわらず、負担金が増額している理由は何ですか。

答 知多南部広域環境センターの建設費の償還が令和5年度から開始されること

下水道事業

問 下水道使用料の改定について、昨今の社会情勢を考慮すると、改定期を再度延期することも検討すべきと考えますがいかがですか。

答 下水道事業はこれまでのところ赤字経営でしたが、使用者に自分の負担をいただいたうえで自立経営が基本であり、コロナ禍での影響を鑑み、使用料の改定を1年間見送ったうえで、令和5年度4月に改定を行うものです。改定期をさらに先送りして一般会計などから補填することは考えていません。



建設産業委員会の様子

審議結果 令和5年第2回臨時会(3月31日)

■全会一致の案件

議案番号等	議案名 ()内は議案の補足説明です。
28	令和5年度半田市一般会計補正予算第1号 総務 ：若年がん患者在宅ターミナルケア支援事業実施のため、財政調整基金から繰り出しをするもの 文教 ：若年がん患者在宅ターミナルケア支援事業の実施に伴うものなど
29	半田市市税条例等の一部改正について (「地方税法等の一部を改正する法律」が、4月1日から施行されることに伴い、半田市市税条例等の一部を改正するもの)
30	半田市国民健康保険税条例の一部改正について (地方税法施行令の改正に伴い、国民健康保険税の課税限度額を、法定限度額と同額に改めるもののほか、被保険者の均等割額、軽減判定所得の基準額等の改正を行うもの)
31	半田市印鑑条例の一部改正について (「電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律」の一部改正に伴い、コンビニ交付サービスにおいて、スマートフォンを使用し、印鑑登録証明書等を取得することが可能となるため、本市の条例の一部を改正するもの)

■その他の案件

議案番号等	議案名 ()内は議案の補足説明です。
報告4	専決処分の報告について(施設の管理瑕疵に起因する事故の和解及び損害賠償の額の決定)
報告5	専決処分の報告について(公用車両が関係する事故の和解及び損害賠償の額の決定)

新エネルギー 活用調査特別 委員会 活動報告 (要旨)

調査テーマ

「持続可能な新エネルギーの活用について」

半田市は、知多半島の中の広域行政の役割を果たすため災害拠点病院の強靱化を図らなければならないことと併せて災害によって都市機能にダメージを受けても、早期に機能回復できるように備えが必要です。また、半田市が進めている工業団地の企業誘致に対して、新エネルギーの活用を掲げ、他市町と差別化を図っていくことが課題として挙げられます。

以上の課題に対し再生可能エネルギーの一步前進した活用として以下提言いたします。

一、ゼロカーボンシティはんだビジョンに計画されているゼロカーボン促進エリアにおいて、災害時の電

源喪失に備え、地域マイクログリッドの構築に向けた取組みを進めるべきである。特に松堀町エリアにおいては新病院建設を控え、アークセス道路の誘導電源、また防災広場や災害発生時に対策の中心として機能するよう指定されている半田運動公園および知多南部総合卸売市場について強靱性の確保は急務である。

一、市内、公用車を含む電気自動車などの導入促進を行い、移動式蓄電池として災害時の緊急電源として整備を進めると共に、給電スポットには再生可能エネルギーによる充電を可能にするべきである。

一、石塚地区ならびに中徳田地区に計画中の企業用地には、進出企業に対し半田市のゼロカーボンシティはんだビジョンへの理解と賛同を推奨し、再生可能エネルギーの供給なども視野に入れた企業誘致を行うべきである。

一、いつ起こるかかわからない大規模災害から市民を

守るため、エネルギーコストの安定化を図り、また、知多半島のエネルギー政策をリードしていく気概を持って、知多半島初のエネルギー政策担当部門を編成し、市長をトップに置いた全庁的なプロジェクトとしてゼロカーボンシティを目指すべきである。

結びに、これからの半田市には、新エネルギーの活用都市を目指すことを前提とした施策の展開が必要であり、関係機関と共に取組んでいけるように行政としてその思想をしっかりと打ち出していく必要があります。本提言が、新エネルギー活用政策に関する建設的な議論に発展し、グローバルな世界観を持ち、専門性の高い知見を有する職員を始め、一人でも多くの市民が養成され、半田市の持続的な発展が実現されることを期待します。

半田市議会の 年間スケジュール

半田市議会は、年4回の定期的に開かれる「定例会」と、必要に応じて開かれる「臨時会」があります。市議会では、いつ、どのような内容の審議を行っているのでしょうか。市議会の1年間のスケジュールを紹介します。



1月	会期中以外の期間(閉会中)も活発に活動します！各常任委員会(総務、文教厚生、建設産業委員会)、議会運営委員会、特別委員会で調査テーマについて約一年かけて調査研究を行います。	
2月	■各常任委員会調査事項に係る委員会協議	
3月	議会運営委員会、全員協議会 3月定例会	議案審議、代表質問、一般質問、 新年度予算の審議、各委員会の調査事項に係る結果報告・提言など
4月	■議会報告会(広聴委員会):3月定例会の審議内容・結果の報告、意見交換	
5月	議会運営委員会、全員協議会 5月臨時会	役員選挙(議長、副議長、監査委員、常任委員会委員選任)、議案審議
6月	■各委員会調査テーマ決定、勉強会	
	議会運営委員会、全員協議会 6月定例会	議案審議、一般質問、特別委員会の設置
7月	■議員勉強会	
	■各委員会調査テーマについて勉強会、視察、委員会協議	
8月	■議会事業評価	
9月	議会運営委員会、全員協議会 9月定例会	議案審議、一般質問、 決算審議
10月	■議会報告会:9月定例会の審議内容・結果の報告、意見交換	
11月	■議員勉強会	
	■各委員会調査テーマについて勉強会、視察、委員会協議	
12月	議会運営委員会、全員協議会 12月定例会	議案審議、一般質問

その他の活動

- 政務活動費を活用した調査研究(先進地への視察、参考図書購入、勉強会などへの参加)

随時開催される委員会・組合議会など

- 広報委員会:市議会だよりの編集、発行
- 交流企画委員会:議会活性化について協議・調整
- 各種審議会や知多半島内の市町で構成する組合議会

● 第32回 議会報告会のYouTube配信について ●

第32回 議会報告会「市民と議会のつどい」を動画配信サイトYouTubeで配信中です！
今回は、3月定例会で審議した令和5年度新年度予算について、審査の概要やポイントをわかりやすくお伝えします。議会報告会をご覧ください。議会を身近に感じていただけたら幸いです。どうぞご覧ください。



半田市議会
議会報告会へ

今後の本会議の開催予定

5月臨時会

5月15日(月)・5月16日(火)

6月定例会

6月13日(火)から6月23日(金)



※会期中の日程は約一週間前の会議で決定します

議会本会議の予定へ

あとがき

今号より表紙のデザインを変更するとともに、「代表質問」や「一般質問」のページにイラストや写真を掲載するなど、少しでも「見やすく読みやすい」紙面となるようにリニューアルしました。

市議会議員は、4月30日で現任期が満了となり、5月から新たな陣容による活動がスタートします。これからも議会活動を市民の皆様に関わりやすくお伝えするとともに、より多くの方に市議会へ関心を持っていただけるような紙面づくりに取り組んでまいります。

広報委員会

委員長 加藤 美幸
副委員長 中村 和也
委員 伊藤 正興／芳金 秀展
山田 清一／澤田 勝

編集・発行 半田市議会

〒475-8666
半田市東洋町2-1
☎0569-84-0694
☎0569-24-7185
FAX 0569-24-7185
E-mail : giji@city.handa.lg.jp



QRコードは特許登録商標です。

半田市議会へ

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。